

## 町政に対し提言

視察終了後、委員会を開催し視察結果をまとめ、その後、議会全員協議会において町政に対し提言することを議員全員で決定し、9月30日に昆議長と菊地委員長が町長に提言書を手交しました。

手交後、佐藤町長は「コロナ禍の状況で視察したということは、議会でも新・道の駅の重要性を認識していると改めて感じた。提言をまとめていただき、菊地委員長には感謝する。非常に多くの示唆に富んだ内容であると思っている。この提言書を1つの力にし、新・道の駅を復興のあとの町経済活性化の起爆剤にし、その中において既存の道の駅も連携できるような方法を考えていく。提言書をいただき議長と委員長に感謝する。」と述べました。



昆議長から提言書の手交を受ける佐藤町長



提言書の説明をする菊地委員長

菊地委員長は、提言書の説明をした上で「今回の提言を参考にさせていただき、魅力のある道の駅を整備されるよう切に願うものである。」と述べました。以下、提言書の内容を抜粋したものを掲載します。

## 道の駅の運営等に関する町政への提言

※一部抜粋

### 1 施設について

- (1) 施設のコンセプトを定め、また、ターゲットは観光客および町民全てを対象とし、他の道の駅との差別化・区別化をはっきりと図るべきである。
- (2) オープン後、同じことばかりやっていると飽きられてしまう。そのためには改修に合わせたハード的なりニューアルだけではなく、ソフト的にもリニューアル、つまり魅力的なイベントを実施するなど、絶えず新たな取組に挑戦していくべきである。また、よりよい道の駅となるよう不断の研究をすべきである。
- (3) 町内の観光マップやおすすめの観光コースなど様々な情報を提供できるような複数の言語に対応したデジタルサイネージの観光案内板を設置し、町内各地域への観光客の誘導等を的確に行うべきである。

### 2 飲食コーナーについて

- (1) 道の駅内で購入した海産物等をその場で焼いて食べられるよう、屋内のバーベキュー施設が必要である。なお、気候条件や気象条件などに左右されるため、屋外に設置すべきではない。

- (2) 「このメニューが食べたいからこの道の駅に行く」というように思わせることが重要である。

### 3 トイレについて

- (1) 清潔なトイレはリピーターを増やす。逆に言えばトイレが汚いとリピーターはできず客足が遠のく一因となってしまう。常に清潔であることが求められることから、経費を惜しまず、清掃の回数を増やすなど、できることはすべて取り組み、岩手県で1位のトイレとなることを目指すべきである。
- (2) 明るいトイレは清潔感にさらなるプラスの印象を与えるため、できるだけ日光を取り入れられるようにすべきである。

### 4 駐車場について

- (1) 駐車場は、オープン後の利用状況を踏まえ、例えば一般用を減らして二輪車用を増やすなど、状況に応じた対応が必要である。
- (2) 駐車場が不足した場合、それが時期的なものか慢性的なものかを分析し、臨時駐車場の開設又は用地取得等による駐車場の拡張を検討すべきである。